

## 東広島市 冬満載情報



### イベント

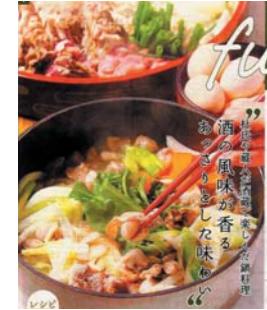
日程	名称	問合せ先
平成18年12月15日(金)	市内探訪ツアー「産業観光」	(社)東広島市観光協会 082-420-0310
平成19年1月1日(祝)	龍王山初登頂	東広島商工会議所 082-420-0302
平成19年1月14日(日)	安芸津かきまつり	安芸津漁業協同組合 0846-45-0050
平成19年1月14日(日)	東ひろしま市新春駅伝競走大会	東広島市スポーツ振興課 082-420-0978
平成19年2月11日(祝)	東広島ロードレース大会	ロードレース大会実行委員会 082-422-9999
平成19年2月9日 ～3月18日	現代の造形—Life & Art— 「竹 美への叢生」	東広島市教育委員会 082-420-0977
毎月第3日曜日	並滝こもれびの会	(社)東広島市観光協会 082-420-0310
毎月4日	西条四日市	まちづくりくらし織り人 082-422-4413
毎月10日	酒蔵の街 てくてくガイド	観光協会西条駅前案内所 082-421-2511
毎土日祝	醸華町西条	観光協会西条駅前案内所 082-421-2511

### 旬なもの

時期	名称	問合せ先
10月中旬～12月下旬	みかん	安芸津支所産業課 0846-45-1623
10月初旬～3月下旬	牡蠣	河内支所産業課
10月初旬～3月下旬	もずくがに	河内支所産業課 082-437-2901

### ●「美酒鍋」朝日新聞で紹介

11月15日(水)、朝日新聞の別刷り「fulmama(フルママ)」(関西圏で発行・配布)に、東広島の名物料理「美酒鍋」が紹介されました。これは祖母から母へ、母から子へと伝え継がれた「ママの味」を紹介する『母の味紀行』シリーズとして掲載されたものです。取材に協力していただいたのは中村恵子さん、沖田智江さん、後藤万里子さんのお三方で、沖田さんのお宅に集まって料理がつくられ披露されました。新聞には美酒鍋の由来、つくり方、沖田さんのお宅での料理風景などが掲載され、「杜氏や蔵人が酒蔵で楽しんだ鍋料理、酒の風味が香るあつさりとした味わい」と好評でした。



(写真撮影:浮田輝雄)

### まつり紹介

安芸津漁業組合青年部  
部長 森下純二さん

#### 第14回 安芸津かき祭り

県内各地で行われるかき祭りの中で一番最初に行われる安芸津かき祭りも今回で14回目になり、毎年3,000人を越す来場者を迎える益々盛大になってます。殻付き焼きかき・剥き身等を通常価格より安く提供し、かき雑炊の無料配布を午前と午後にています。かき飯・かきコロッケ・かき天ぷらうどん等牡蠣を使った食べ物やお子様向けにゲーム・綿菓子・たこ焼き等色々あります。ぜひ多くの方にご来場いただいて安芸津の『牡蠣』を堪能して下さい。

場所: 安芸津町B&G海洋センター前 多目的広場

### 特産品紹介

#### 安芸津の牡蠣

安芸津の牡蠣は広島県内でも一番早く水揚げされ瀬戸内海で育った牡蠣の特徴はなんと言つても身の大きさと味の良さです。

(問)安芸津漁業組合  
TEL0846-45-0050



# 東広島NEWS

## 東広島市観光協会会報

社团法人東広島市観光協会  
〒739-0025 東広島市西条中央 7-23-35  
TEL (082)420-0310, FAX (082)420-0329  
URL <http://hh-kanko.ne.jp/>  
E-mail [office@hh-kanko.ne.jp](mailto:office@hh-kanko.ne.jp)

vol.6 2006 冬



雪の竹林寺(写真:船越雄治さん)

### トピックス

#### ●竹林寺縁起

竹林寺は標高535米の笠山山頂にあります。竹林寺縁起によると、天平2年(730)諸国修行中の行基上人が山頂の靈光を見て当地を訪れ、靈光を放つ大桜樹を切って千手觀音像を刻み、一字を建てて桜山花王寺と名付けました。当時、入野の里に八千代と云う女性が花王寺に千日の願を掛け、授かった子供が「われ笠なり」と名のりました。笠は12才のとき京都に上って勉学に励み、その才能を認められ、時の嵯峨天皇に仕えました。笠は没後百年再びこの世に生まれ、僧となって花王寺に参り、冥途の十王尊の内9体を彫刻し、1体は自ら仏となって、寺号を笠山竹林寺と改めました。本堂は室町時代の建物で、国の重要文化財に指定されています。その他に、県・市の文化財もあります。

またこの地一帯は、竹林寺用倉山県立自然公園に指定されていて、笠山は広島百山にも入っています。歩いて健康、見て観光、拝んで信仰、心と身を清らかに、六根清淨、六根清淨、合掌。

おちこちの峰を島かと見するまで霧の海なす笠の里 小野 笠



住職 佐伯秀明さん

## ●「2006酒まつり」盛会裏に終了

10/7(土)8(日)の2日間開催された酒まつりは好天に恵まれ、23万人の来場者を迎えるという大盛況ぶりでした。特に今年は、西条警察署をはじめとする関係団体の協力を得て、飲酒運転の防止に努めた結果、1人の検挙者もなく無事に終了することができました。

開催にあたってお世話になりました皆様に厚くお礼を申し上げます。



和服姿で活躍し、酒まつりに彩りを添えたアザレアフェアリィ。どこへ行っても人気の的でした。



大勢の観客で埋めつくされた夜のメイン会場。出し物は今人気のお笑いコンビ「いつもここから」。



開場前から長い行列ができた人気の「酒ひろば」。今年は917銘柄の酒が全国から集まりました。

## ●「並滝こもれびの会」10/15(日)に開催

今回の定例会では、東広島山草会の鉤流会長の指導によって苔玉づくりを体験しました。開催場所は並滝寺湖畔のふれあいの森で47名が参加者しました。特に女性の参加が多く、苔玉に山野草を配する作業が、楽しい雰囲気の中で開かれ大変好評でした。



## ●第7回東広島市観光振興協議会 黒瀬町で開催

11月1日(水)標題の会議を黒瀬町で開催しました。今回は、先回にひき続き広域東広島市の新しい「観光キヤッチフレーズ」と、観光資源毎の観光客誘致のために必要な施策について検討しました。ひき続き黒瀬町の保田古墳、西福寺、広島国際大学などを訪問して、見学しました。



## ●第2回「西条駅前はしご酒」に アザレアフェアリィ参加

11/8(水)に開催され、観光アシスタントのアザレアフェアリィが参加してお手伝いをしました。この催しには約500名の参加があり、6時半から9時半まで西条駅前商店街が賑わいました。



## ●あきつフェスティバル 盛大に開催

11/11(土)12(日)の2日間、「あきつフェスティバル」が開催され、当地より宝積飲料、さくらや、福富堂の3社が出店され、アザレアフェアリィも参加しました。初日はあいにくの雨でしたが、午後から天候も回復に向かい、2日目は好天に恵まれ2万5千人の人出で賑わいました。



## ●市内探訪「秋の福富こだわりツアー」開催

観光協会の主催による今年4回目のバスツアーを11/11(土)に開催しました。訪問先は福富ダム、岡山八幡神社、長円寺などです。地元産品づくりの弁当や紅葉に彩られた里山の風景さらには岡山八幡神社で最近発見された三十六歌仙奉納額を拝見できて大好評でした。訪問した先々では地元の方々の暖かいおもてなしを受けたことに、心からお礼を申し上げます。



## ●「旧軍港4市&中国地域グルメ交流会」に 東広島から参加

11/12(日)「2006くれ食の祭典」と併せて呉市で開かれた標記の交流会に東広島市も参加しました。当市の他に松江市、出雲市、岩国市、岡山市が参加して各地の名物料理・特産品の販売で賑わいました。東広島市は「美酒鍋」「黒瀬牛のクシ焼」「各蔵元の銘酒」を販売して人気を博し、行列ができる盛況ぶりでした。ステージではアザレアフェアリィと杉井さんが、東広島市の観光PRに熱弁をふるいました。



## 藏田市長にインタビュー (1)

11月17日(金)藏田市長を訪ねてインタビューを行い、東広島市の観光についての想いを語っていただきました。인터ビューは、アザレアフェアリィの東奏絵さんです。



東…「酒」は東広島市にとって代表的な特産品で多くの蔵元、町並み、北部は酒米の産地、新しいところでは酒類総合研究所など、「酒」に関する歴史・文化が豊富な街です。こうした歴史・酒文化を、どのように観光振興に活かしていくのがよいか、市長の想いを聞かせてください。

市長…「酒」で観光振興を行うというのは、言われるように当市の代表的な产品であり、その歴史文化も古いことから、良い考案で大切なことだと思います。

代表的なイベントに「酒まつり」があります。私も多くの仲間と一緒に参加しておりましたが、平成2年からスタートした祭りで、おかげさまで多くの人に来ていただけるような祭となりました。これからも皆で知恵を出し合って、趣向を凝らして来場者が毎年來たくなるような努力を続けていただきたいと思います。

また、観光スポットとして酒蔵通りを考えた場合、蔵元さんにはカウンターで気軽に酒が飲める「居酒屋」のようなものを展開していただければ観光客にも楽しんでもらえるのではないかでしょうか。

広島酒の原点は安芸津で、竹原市も酒どころです。酒の歴史と蔵元巡りというテーマで、西条と安芸津、竹原を結んでツアールートにすれば観光にも幅を持たせられるのではないかでしょうか。道中で例えば風早の「三倍体牡蠣」など、そこそこの名物を食べて、うまい酒をチビリ



チビリやりながら、というのが評判になるんじゃないでしょうか。

昔、大分県日田市にあるニッカウヰスキーを見学したことがあります、樽ごとに貯蔵年数の違うウイスキーが飲めるんです。そしていろんな物産が展示してあってそれを買い求める人で賑わっているのを見ました。このような日本酒の施設を広島空港付近につくって、空港で乗り降りする人を呼び込めば、酒の名所になるのではないかと思ったこともあります。

これは私見ですが、焼酎の消費量が多くなったことから、当地でも焼酎をつくってもらつたらと思います。例えば、安芸津のジャガイモを使えばうまい焼酎ができるのではないかと思います。

一時は「マツタケ焼酎」をつくったら売れるのではないかと思ったこともあります…(笑)。

酒蔵通りは歴史的に価値があるものとして残すべきだと思います。先ほども言いましたように気軽に飲める場所や、歩いて楽しめるスポットがあれば一段と魅力ある街となるように思います。

さらに、よく言われることですが、観光バスの駐車場の整備や、公衆トイレの設置も何か実現したいものです。

市長にはお忙しいなか、熱い想いを語っていただきました。この続きは、次号に掲載します。

